No		C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	Cu	
654-5	A	0·053	0·69	1·55	0·020	0·010	19·85	24·75	0·08	0·07	
	B	0·053	0·69	1·54	0·020	0·011	19·81	24·69	0·08	0·06	
	C	0·053	0·69	1·55	0·020	0·011	19·83	24·73	0·08	0·06	

No.		C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	Cu	Nb
655-5	A	0·054	0·58	1·56	0·032	0·006	11·46	18·53	0·05	0·09	0·61
	B	0·054	0·58	1·56	0·032	0·006	11·46	18·48	0·05	0·09	0·61
	C	0·054	0·58	1·57	0·032	0·006	11·45	18·56	0·05	0·09	0·61

書　評

「マルテンサイト変態」

(西　山　善　次著　丸善刊)

本書はマルテンサイトの結晶学的研究で世界的に著名な西山善次博士がまとめられたマルテンサイトについての深くかつ興味深い知識と展望の書である．博士が長年に渡つてマルテンサイト変態に関する研究に関与された成果の結実した書とも云えるもので，上巻「基本編」と下巻「応用編」の2冊に分けて刊行されている．

まず基本編では，序論的解説に続いて，Fe 基，Co 基，Ti 基その他各種のマルテンサイトの結晶学に関して精しく述べられ，さらにマルテンサイト中の各種格子欠陥の挙動と意義，変態のカイネティクスへと展開し，変態理論の詳細な紹介と展望論説によつてしめくくられている．まさにマルテンサイトを学ぼうとする研究者技術者にとつてかつてみられなかつた豊富な知識を与えるものと云えよう．

応用編では，まず前半に極めて興味ある話題が扱われている．マルテンサイト変態と類似の要素をもつ変態としてマツシブ変態，ベイナイト変態をとりあげている．

マルテンサイトと対比させつつ結晶学的解説を行ない，さらにこれらの変態の生成機構とカイネティクスを論じ，それぞれの変態の機構的な相互関係を著者の見解によつて総括している．つぎの部分は鋼でない合金にも近年「広義のベイナイト」の意で用いられるようになつた各種の非鉄ベイナイトについての解説が多くの例について述べられており興味ある章である．応用編の後半には，マルテンサイトの焼戻し機構についての解説および炭化鉄，窒化鉄の構造，マルテンサイトの強化機構など附録としてかなりの頁をさいて述べられており，この部分も結晶学的な基礎知識のもとに興味深くまとめられている．

以上，本書は「マルテンサイト」について結晶学を骨として現象別にまとめたエンサイクロペディア的解説であると同時に，西山博士のオリジナルな意見によつて論説として述べられている部分も多く，鋼の研究，開発方面に関係ある人々にとつて極めて魅力的な学習専門書と云うことができよう．（荒木　透）

「基本編」：昭和 46 年 12 月 10 日発行　A 4 判　330 頁　定価 4000円
「応用編」：昭和 49 年 7 月 15 日 発行　A 4 判　167 頁　定価 4700円